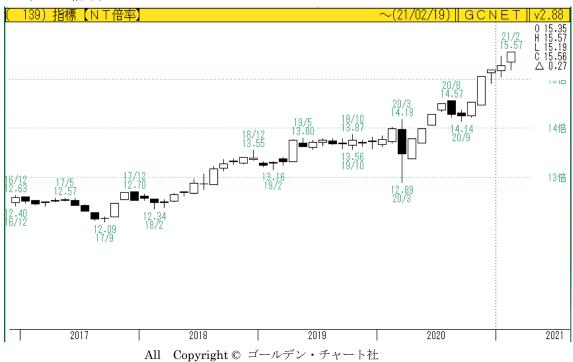
< ワンポイント・レッスン(実践) > (N・T 倍率)

N・T 倍率は、以前このコーナーで TOPIX 対日経平均相対比較(以下相対比較)を説明した際に、その関連でコメントしたことがあります。N・T 倍率は、日経平均を TOPIX で単純に除算したもの、日経平均の方が優位な動きなのか、あるいは TOPIX が優位な局面なのかを測ります。ベクトルをみるのは同じですが、相対比較は 13 週間・26 週間など期間を区切って計算、物色の転換点を行き過ぎ度から計ります。日経平均は、単純平均で値嵩ハイテク優良株など成長企業の株価の影響が高い指数、各銘柄の時価総額をベースに計算される TOPIX に対して趨勢的に優位な展開になる(N・T 倍率が高くなる)性格を持っています。ただ、中・短期に物色対象が変わるのはマーケットの常、行き過ぎの転換点をうまく捉えたいものです。

(N・T 倍率)



日経平均の 89 高値に対する戻り高値を更新した 11 月第 1 週(11 月 6 日週末)から直近までの上昇率は、日経平均 23.3%、TOPIX は 16.3%。その差が、上記 $N \cdot T$ 倍率の動きにも出ていますが、ピッチの速さの反動があってもいい動き。要注意です。